



1



2



3



4

【19日・交流会】  
1\_「宝暦杉」の劇では江戸時代の農民の苦しみを表現。2\_熱演に見入る全国の凧友。3\_衣装を身につけた出演者。4\_恒例の凧オークションも行われ、盛り上がりを見せた。

## 全国の凧愛好家が能登に集結 第13回 全国凧あげ能登大会

10月19日、20日の両日、柳田植物公園で全国凧あげ能登大会が開催されました。19日の交流会には全国各地から約70人が参加し、久しぶりの再会を喜びました。アトラクションでは上町公民館の「宝暦杉」の劇が披露されました。劇には凧の会のメンバーも参加しており、観客から大きな拍手が贈られました。

20日はあいにくの雨模様。それでも雨がやんでいる一瞬を見計らって凧あげに挑戦、空を舞う姿がみられました。



## 秋の味覚「きのこ」を堪能 第4回 能登きのこ祭り



(写真左)「カールおじさん」と「のつとりん」が来場者をお出迎え。(写真下)秋の味覚を求め、テナントには多くの人が訪れた。

10月20日、第4回を数える「能登きのこ祭り」が柳田植物公園で開催されました。今年は猛暑の影響かきのこが少なく、きのこの品評会は残念ながら中止となりましたが、秋の味覚を楽しもうと、朝からたくさんの方の来場者がありました。

ずらりと並んだ12団体のテナント「五感まるごと市」では、きのこご飯やきのこ汁、きのこうどんなどのきのこ料理が販売されるとともに、能登牛ブロックの丸焼き、地ビール、イカ焼きなど、町の特産品も多数販売されました。

訪れた人は休憩所でゆっくりその味を楽しんだり、家庭へのお土産をたくさん買い込んだりしていました。



能登キャンパス構想推進協議会「地域・大学連携サミット」

## 能登の活性化と持続的発展をめざす 地域・大学ネットワークの構築

能登でフィールドワークを行っている県内外の研究者などが集う「地域・大学連携サミット」が、11月8、9日両日に能登町で開催されます。大学や研究機関に日頃の能登での活動を報告していただくとともに、それぞれの地元からはコメントをいただき、活動の成果と問題点、今後の方向を議論します。

8日(金)の「報告2」では、島根大学の小林伸雄教授が、平成18年から能登町を拠点に能登半島一帯で行ってきた「のどキリシマツツジ」の調査結果などについて報告し、NPO法人「のどキリシマツツジの郷」の政田成利事務局長がコメントします。みなさん、お申し込みのうえご参加ください。

問ふるさと振興課 ☎ 62-8532

【11月8日(金)】 会場：役場能都庁舎4階ホール

- 13:00 主催者挨拶、歓迎挨拶、趣旨説明
- 13:30 基調講演「能登の可能性、生態と文化からのアプローチ」
- 14:30 特別報告「世界遺産、ユネスコエコパーク、GIAHS等の国際認証制度の役割と現状」
  - 報告1 「外から見たあえのこと：文化資源の活用のしかた」
  - 報告2 「のどキリシマツツジの研究を活用した地域活性化」
  - 報告3 「学生は能登島の豊かさと問題点に気づくことができるか？」
  - 報告4 「能登における環境配慮型農林業の課題」
  - 報告5 「能登“祭りの環プロジェクト”～学生たちのまつり参加」
  - 報告6 「輪島市三井町住民と学生による協働の地域づくり」
  - 報告7 「能登人との交流を通じた地域資源の再発見：能登定住・交流機構の取組を事例として」

17:20 総合討論（～18:00）

【11月9日(土)】 会場：のど海洋ふれあいセンター

- 9:00 「金沢大学能登臨海実験施設の文科省教育関係共同利用拠点認定と今後の展開：能登の里海を場とした教育・研究・地域連携」
- 11:00 総合討論  
「能登の持続的発展に向けた地域と大学、研究機関等とのパートナーシップ構築とネットワークづくり」（～12:00）



## 港町 宇出津灯りフェスティバル

宇出津灯りフェスティバルは、9月22日に開催。10団体が参加し、宇出津の町並みを温かく照らしました。



第1位  
小棚木町内会



第2位  
音羽町町内会



第3位  
宇出津総合病院  
むつみ会